

令和六年度

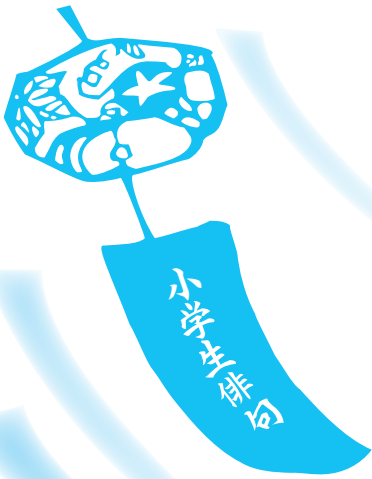
太田中央ライオンズクラブ

子供育成事業



第十二回 太田市小学生俳句コンクール

# 作品集



主催.. 太田中央ライオンズクラブ

後援.. 太田市・太田市議会・太田市教育委員会

上毛新聞社・群馬テレビ・太田商工会議所

太田市青少年育成推進員連絡協議会

太田俳句協会



## 巻頭言

太田市小学生俳句コンクール選考委員長  
上毛新聞ジュニア俳壇選者

鈴木 伸一

二〇二四年は元日の能登地震をはじめ、異常なほどの長期間にわたった猛暑、さらには集中豪雨の頻発など、自然災害に多く見舞われてきた年ですが、そんな中でも第十二回太田市小学生俳句コンクールが無事に開催の運びとなりました。選考に携わる者の一人として心から喜んでおります。ただし、前大会までは応募対象を小学5年生と6年生としていたものが、今大会から6年生のみに縮小されたため、応募総数は前大会の半数強にとどまりました。とは言え、先生方の業務は相変わらず多忙をきわめており、その中を児童の俳句指導に時間を割いていただくことは決して容易ではありません。この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

ところで、小学6年生ともなりますと学校での学習量も増え、加えて塾や習い事、サッカーとか野球とかいったスポーツなどにも多くの時間を使うようになってきますから必然的に忙しくなり、知らず知らずのうちに心のゆとりを失ってしまうことにもなり兼ねません。心のゆとりを失うと、自分の身の周りをじっくりと眺めることはもとより、季節の変化を感じ取ることすら難しくなってきました。だとしたら、せめて俳句を作るときくらいは深呼吸でもして意識的に心を落ち着かせ、ゆっくり流れる時間に身を任せてみてほしいと思います。そういうちょっとしたことが、ゆとりを失って見過ごしてしまっていた季節感や、季節とともに変化してゆく風物をあらためて気付かせてくれることでしよう。それを人まねでない自分自身の言葉で表現してゆくといい俳句の基本を、小学生の皆さんにもしっかり身に付けてほしいと思います。それができるようになると、俳句が本当に楽しく感じられてくるに違いありません。これからもそういう小学生が一人でも多く増えてゆくことを願ってやみません。

(プロフィールは26頁に記載)



## お礼の言葉

太田中央ライオンズクラブ会長  
小林 陽一

日頃より大変お世話になります。太田中央ライオンズクラブ、小林と申します。第十二回太田市小学生俳句コンクールの開催に当たり、太田中央ライオンズクラブを代表いたしまして心より御礼申し上げます。また、後援をいただきました太田市並びに、他の多くの方々には、子どもたちが歴史ある俳句という文化を学ぶために、多大なるご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。今後とも子供育成事業として、俳句に触れることにより日本文化への深い理解ができるよう活動を続けて参りたいと考えております。

俳句の持つ、たった十七文字の中に、情緒や風情などを自分の言葉で表現するという難しさが、子どもたちの将来の表現力や洞察力に素晴らしい効果があると考えております。今回も大変多く子どもたちより、一生懸命に作っていただいた作品を送っていただきました。どの作品も素晴らしく、入賞作品を選ぶことが、これほど苦労するものなのかと感じております。そして、作品から伝わる子どもたちの感性や視野、願いなどから、将来、輝かしく活躍する姿が容易に想像することができました。

結びになりますが、太田市教育委員会をはじめ、協力いただいた多くの皆様方に改めて感謝を申し上げますとともに、太田中央ライオンズクラブの今後の活動に、ご理解ご協力をいただけますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。



## 祝辞

太田市長 清水 聖義

このたびは、第十二回太田市小学生俳句コンクールを迎えられ、誠に喜ばしく心よりお祝い申し上げます。そして、主催の太田中央ライオンズクラブを始め、関係者の皆さまの多大なご尽力に深く敬意を表します。

このコンクールは、俳句を通じ子どもたちが創造力を養い、文化を大切にすることを目的に始められました。本市は、「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」を将来の都市像として掲げていますが、様々な経験を通して、子どもたちがのびのびと成長できるよう、教育、芸術文化、スポーツ環境等の充実を図っております。

来年3月に1市3町の合併から20周年の節目を迎えます。「ありがとう20年。太田まだまだ、のびざかり」をキャッチフレーズに、現在、様々な記念事業に取り組んでいます。そして、3月9日にはオープンハウスアリーナ太田にて、記念式典や群馬交響楽団と20周年記念合唱による第九コンサートを開催します。さらに魅力的なまちとなるよう、引き続き、関係人口、交流人口の増加に努め、賑わいを創出していきます。

終わりに、本事業のご成功と貴クラブの一層のご発展、ご躍進を心よりお祈り申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。



## 祝辞

太田市議会議長 高田 靖

このたび、第十二回小学生俳句コンクールが開催され、作品集が発行されますことに、心からお祝いを申し上げます。

また、主催の太田中央ライオンズクラブをはじめ関係者の皆様におかれましては、日頃より社会福祉や学校教育の向上のため、多大なるご尽力を賜り深く感謝を申し上げます。

本俳句コンクールは、作品を作り上げる子どもたちはもちろんのこと、それを見守る大人たちも毎年楽しみにしていると伺っております。とりわけ、自分の作った俳句が、作品集として掲載されることは、大きな喜びであり、一層の励みになるものであります。

そして、五・七・五の十七語で目に映る情景や自分の感性を巧みに表現し、子どもならではの躍動感に溢れる作品は、全ての人に笑顔と元気を与えてくれるものでございます。

今後、子どもたちの感性豊かな作品を発表する場として、この俳句大会の開催に、大いに期待をさせていただきます。

結びに、太田中央ライオンズクラブの会員の皆様のご健勝と本事業の今後ますますのご発展、そして俳句コンクールに応募してくださった子ども達の輝かしい未来を祈念申し上げます、第十二回作品集発行の祝辞といたします。



## 祝辞

太田市教育長 恩田 由之

第十二回小学生俳句コンクールが盛大に開催され、作品集が発行されますことを心よりお祝い申し上げます。

季節の移り変わりや日常の出来事に対する感動を凝縮し、作者の心を震わせた出来事を原動力として言葉を紡ぐ俳句は、日本の伝統文化の一つです。この素晴らしい伝統文化が現代を生きる子どもたちにも引き続き親しまれ、たくさんの個性豊かな作品が寄せられていることに感銘を受けました。夏的情緒あふれる情景を切り取った子どもたちの作品からは、豊かな心が育まれていることを感じることができます。

太田市教育委員会では、「Realize the students' true happy faces」を今年度のスローガンに掲げ、一丸となって、子どもたちの「真の笑顔」の実現に努めているところです。子どもたちがさまざまな体験ができる機会を増やすことが、子どもたちの非認知能力の育成に繋がり、大変重要なことと考えております。このような場は、真の笑顔と成長を実現するための一助となるものと期待しております。

最後に、太田中央ライオンズクラブの皆様のご尽力に感謝申し上げますとともに、本事業のますますのご発展を祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



## 祝辞

太田警察署長 青木 修

群馬県北西部の山間部にある東吾妻町が、私の生まれ故郷で、高校生まで過ごした地であります。

『山吹の舞い散る谷に溪流魚』という俳句、私が小学五年生のときに、国語の授業で提出したもので、担任の石橋先生に大変褒めていただいたことを今でも思い出します。

この句は、地元魚協が発行する子供用の鑑札を腰にぶら下げ、近所の川にヤマメ釣りに出掛けたときの情景を切り取ったものです。

俳句は、何気ない日常での出来事など、その時々的情景を五感（視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚）で感じ取り、その場面を短い文章で構成表現する。

俳句は、感性が磨かれ、必要な五力（観察力・推測力・聴取力・表現力・判断力）を養うことができるものの一つ。日本人にとって大切な文学の一つであると思います。

太田市で生まれ育つ子供たちが心豊かな人に成長する一助として「太田市小学生俳句コンクール」が末永く継続されますこと、この「子供育成事業」を主催します太田中央ライオンズクラブの益々のご発展・ご躍進を祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

- 観察力：周囲の事象を注意深く見聞し、物事の変化や違いに気付く力
- 推測力：収集した情報から結論を導き出す力
- 聴取力：相手の言葉の意味や真意に的確に汲み取る力
- 表現力：自分の感情や思考を他者に分かりやすく伝える力
- 判断力：物事を正しく認識し、論理的に結論付ける力



## 「俳句は日本の四季を詠む 素晴らしき日本の文化」

太田中央ライオンズクラブ  
小学生俳句コンクール実行委員長

鈴木 信昭

日本には春夏秋冬、四季があります。昨今では猛暑日が続くので夏が長くなりましたが、それでも秋になれば紅葉が色付き、冬になり、珍しく雪が積もれば太田も銀世界。大人は雪かきの心配をしなくてはなりません。子供たちは大はしゃぎ。春になれば草木が芽吹きます。季節はカレンダーで感じるのではなく、自然の移り変りを五感で感じるものなのです。

その四季を表す言葉が俳句では要の言葉。季語と言われるものです。季語の種類は本当に多彩です。自然現象から食べ物、植物、動物、生活習慣や行事などあらゆるものが季語として用いられています。その数八千個あるとも言われています。

山を表す季語に「山笑う」があります。実際に山が笑うわけではありませんが、春になると木々が芽吹き山全体が徐々に明るくなる様子を表しています。「山装う」は紅葉で山々が彩られるようすを表し、秋の季語となります。「山眠る」は冬の山の静まり返った様子を表しています。夏は「山滴る」（やましたたる）と表します。水が滴る様子や、草木の葉で覆われ緑が滴るように見える夏山を表しています。

季語は日本人の歴史や文化そのものです。俳句を作ること、俳句を詠むことは日本人としての文化の歴史を学ぶことであり、日本人としての誇りを学ぶ機会となります。

小学生の皆さん。皆さんはこれからも様々なことを学んでいくことでしょ。様々な分野を学ぶ中で、是非とも俳句を詠むことを通して日本人としての誇りと自信を身に付けていただきたいと願うものです。これから二十年、三十年後の日本を担うのは間違いなく皆さんであるからです。心からご期待申し上げます。

入賞作品

上毛新聞社賞

★太田中央ライオンズクラブ会長賞

闇の中ねぷたの灯り追いかける

強戸小 六年 木暮 萌衣

★太田市長賞

猛暑日に打って守って声からす

北の杜学園 六年 綿引 新

★太田市議会議長賞

祭りの日いろとりどりの花がさく

北の杜学園 六年 菅 陽芽花

★太田市教育長賞

おばあちゃん退院まだかと夏休み

強戸小 六年 清水良侑子

★鈴木伸一賞

カブトムシこふんの森をすみかにし

旭小 六年 柄澤 寛人

★太田警察署長賞

背泳ぎの青空のすみ入道雲

中央小 六年 久保田朝陽

★太田商工会議所会頭賞

せみの音がしずかに響く大光院

鳥之郷小 六年 吉田 雪那

★太田俳句協会会長賞

校門の小さな向日葵咲いた朝

尾島小 六年 齋藤 理彩

夕暮れの空がきれいな夏休み

九合小 六年 吉田 瑛眞

夏休みたくさん広がる緑色

沢野中央小 六年 田村 未羽

夏休みもう終わるぞと語る空

木崎小 六年 林 明香里

音を立てバツととび立つかぶと虫

藪塚町南小 六年 浅野 友徳

風鈴が陽気にならす夏の声

北の杜学園 六年 清水 望夢

群馬テレビ賞

夏まつりみこしたくさん通ったよ

九合小 六年 近藤 和輝

仲間とのメダル輝く水泳大会

毛里田小 六年 久保田こころ

黄金虫夏の暑さでかがやいた

旭小 六年 加藤 伊織

夏休み早起きをして得をする

世良田小 六年 手島 煌晟

ネパールの窓の中から夏楽しむ

北の杜学園 六年 グルンアユミ

太田市青少年育成推進員連絡協議会長賞

和だいこと音の共演いな光

太田小 六年 宮本 珠希

夏休み青空の下のんびりと

沢野小 六年 金子 凜

おひさまと笑顔が光るプールかな

宝泉小 六年 渡邊 小暖

丘陵を舞台におどる芝桜

毛里田小 六年 新井 涼介

祖父の家たたみの上で空を見て

中央小 六年 荒井 節

小学生俳句コンクール実行委員長賞

ゆうやけにひらりとゆかた夏祭り  
 白球を追いかけるうしろ蝉時雨  
 夏の空あやしい雲があばれてる  
 夏終わり気づけばみんな小麦はだ  
 夕暮れに打ち上げ花火龍のよう

小学生俳句コンクール選考委員長賞

夏休みキラキラしている海の青  
 シュノーケルきらきら光るさんごしょう  
 海水浴水の中まで熱い夏  
 夕月夜金山めぐる竹あかり  
 暑い中一つの風鈴鳴りひびく  
 見あげると大きな音のする花火  
 炎天下走って飛んでファインプレー  
 夏祭り雲の真下の笑い声  
 宿題に終わりが見えない夏休み  
 八木節のかけごえひびく夏の夜

太田中央ライオンズクラブ俳句の会長賞

夏の朝セミのミンミンアラームだ  
 かみの毛がパズルみたいな梅雨の時期  
 四十度蝉さえ鳴かぬ昼下り  
 七五三成長見守る大光院  
 ヤーヤードー尾島の夏夜にこだまする  
 夏祭りおどりきつたら笑顔かな  
 ふうりんがチロチロゆれる青い空  
 通学路落ち葉をふまず行けるかな  
 真夏の日スタンドからの応援歌  
 鳴き止んだちよつとひるねのせみの声

九合小 六年 堀越 弓夢  
 宝泉小 六年 山本 悠月  
 宝泉東小 六年 鈴木 湊介  
 駒形小 六年 村上 琴音  
 世良田小 六年 高柳 柊哉  
 九合小 六年 井上 凜  
 休泊小 六年 有坂 日詩  
 宝泉南小 六年 漏田 大輝  
 毛里田小 六年 宮永 柚芽  
 旭小 六年 高橋 千絢  
 木崎小 六年 石塚 心結  
 生品小 六年 清水 悠史  
 綿打小 六年 三浦 伊織  
 藪塚本町小 六年 中曾根明佳  
 藪塚本町小 六年 寺尾 陸杜  
 沢野小 六年 坂本 涼  
 沢野小 六年 佐藤 萌生  
 休泊小 六年 黒岩 礼奈  
 宝泉小 六年 赤石 桃菜  
 宝泉小 六年 内田 龍翔  
 宝泉東小 六年 池田 聖奈  
 旭小 六年 千田 蒼梧  
 木崎小 六年 神保 夏望  
 生品小 六年 宇都木杏風  
 北の杜学園 六年 川嶋 咲蘭

鈴木 伸一

■ 闇の中ねぶたの灯り追いかける

強戸小 六年 木暮 萌衣

【評】ヤーヤドーの掛け声とともに何台ものねぶたが練り歩く尾島町のねぶたまつりは、たいへん勇壮です。夏の夜、暗闇の中に浮かび上がる色鮮やかな武者絵の明かりを夢中で追いかける作者の姿が印象的。このように郷土の行事を俳句にするのは、とても大事なことです。

■ 猛暑日に打って守って声からず

北の杜学園 六年 綿引 新

【評】作者は野球チームに所属しているようですが、猛暑日の試合は体力的にもかなり大変でしょう。バッティングに守備に活躍したと見えますが、加えてチームメートへの応援も精一杯頑張り、声をかからしてしまったのです。試合後は十分に喉を潤してくださいね。

■ 祭りの日いろとりどりの花がさく

北の杜学園 六年 菅 陽芽花

【評】祭りの日はさまざまな色で装飾した屋台が所狭しと並び、まさに色とりどりの感じ。それだけでなく、それぞれの屋台で売っているものもカラフルで、これらを合わせて「花」に例えたのだと思います。会場の人たちの祭り衣装や浴衣なども色とりどりですしね。

■ おばあちゃん退院まだかと夏休み

強戸小 六年 清水良侑子

【評】けがとか病気とかで夏の暑い中を入院しているおばあちゃん。無事に退院できる日はまだ来ないのかなあ、と夏休み中もずっと気にかけている作者の優しさに心を打たれます。元気に退院できることを、この俳句を読んだ人みんなが祈っているに違いありません。

■ カブトムシこふんの森をすみかにし

旭小 六年 柄澤 寛人

【評】太田市には東日本では最大の規模を誇る天神山古墳をはじめ、多くの古墳が残されています。この俳句がどの古墳を描いているにせよ、子どもたちに親しみ深いカブトムシのすみかという表現を通して、おのずと郷土愛を感じさせるところがたいへんいいと思います。

■ 背泳ぎの青空のすみ入道雲

中央小 六年 久保田朝陽

【評】「すみ」は「隅」にも「澄み」にも受け取れますが、背泳ぎをしながら見上げた夏の広大な青空と、その隅に湧いてきた入道雲を読者にイメージさせる前者の方が、俳句としていいでしょう。これから、だんだん入道雲が大きくなってゆくことも想像されますね。

■ せみの音がしずかに響く大光院

鳥之郷小 六年 吉田 雪那

【評】「子育て呑龍」として知られる大光院の広い境内のどこかでセミが鳴いています。おそらく一匹ではないでしょうが、それが決して騒がしい感じではなく、むしろ由緒ある寺院の厳かな雰囲気の中で、静かに響いているように思われるのです。分かる気がしますね。

■ 校門の小さな向日葵咲いた朝

尾島小 六年 齋藤 理彩

【評】ヒマワリは一般的な大形の花のものから、小ぶりの花のものまで多くの品種があります。この俳句では小さなヒマワリを描いていますが、大きな花よりもかえって小さな花の方がけなげな感じがするようです。作者は朝、校門の所で花にあいさつをしたのでしゅうか。



太田小学校

始業式心の中では夏休み	六年	谷口 皓軌	昼の美味しそうだなかき氷	六年	桑原 奏多
夏の花妹遊びほく守る	六年	小林 輝生	ゆうぐれに花びらちった桜の木	六年	坂田 結菜
夏の朝五千本めざし友とける	六年	川上 善光	風りんがキラキラ光る夏の音	六年	佐々木季乃
九合小学校			夏休み夏の宿題大変だ	六年	白石 秀向
夏休みずっとまっていた海日和	六年	伊藤美咲希	キラキラと光り輝く青い海	六年	関口 遥斗
夏が来て止まらぬ汗に冬願う	六年	内田花菜乃	夏の朝きらりと光る青い海	六年	田中 凜花
夏休みみんなと食べるりんごあめ	六年	大塚みずき	夏休み冷たくなれるかき氷	六年	中山 祐玖
夏休み宿題たくさん大変だ	六年	岡田いちか	真夜中でホタル光りて夏休み	六年	新島 由翔
桜の木花がちったら花のマット	六年	小原 有稀	夏休み家族でプール楽しいな	六年	馬場 朱星
夏祭り楽しそうだけど行きません	六年	川代 昊汰	夜の道光かがやる夏祭り	六年	蛭間 愛珠
気づいたら8月終わり私も終わり	六年	北川 真璃	日の光かがやく海はなみの音	六年	南澤希叶佳
あつい夏がまん大会熱中しよう	六年	佐藤 柗太	暑い夜熱気でとけるかき氷	六年	宮良 讓
なつやすみすぐくたのしむふくおかで	六年	篠崎 心杜	おまつりでひやりとつめたいかき氷	六年	ヒラヤアリセ
夏祭り夜の町中おどりまう	六年	柴宮 滉武	てらしてけ光かがやく花火の日	六年	讓原 遥斗
敗北の味をかみしめ運動会	六年	近松 龍侍	朝鈴は夏の太陽こんにちは	六年	荒木 優
夏休みこわくてさむいおばけやしき	六年	辻 耀理	夏休み家族でプールきもちいね	六年	荒船 優愛
なつのおとチリンチリントすずしいね	六年	土屋 桜乃	猛暑日中子どもびちよびちよ水祭り	六年	飯田亜莉衣
春休み桜の花がひらひらり	六年	平山 楓華	梅雨終わりむし暑さとはおさらばだ	六年	飯田 梨愛
冬休みみんなとつくった雪だるま	六年	若旅 京花	風がふき空を泳ぐよこいのぼり	六年	石井 陽菜
夏祭りみこし担いで肩いたむ	六年	若林 叶真	なつちよくぜんすいぶんほきゅうわすれずに	六年	今成 春瑠
バスケの日夏の太陽あせだくだ	六年	飯田 暁生	夏休み気温が高いとけちやいそう	六年	岡村 歩夢
美しく少しむなしい梅雨の雨	六年	市川いろは	新しい一年生の入学だ	六年	梶原 亜瑚
夏祭りゆかた着ていく夏休み	六年	岩井 怜	よく食べて頭がいたいかき氷	六年	小林 昌輝
夏休み遊びいっぱい宿題も	六年	請地 桃	休みの日すずしくなるよかき氷	六年	小林 莉実
夕暮れかき氷買う夏祭り	六年	大川 有哉	この夏は塩分不足要注意	六年	佐藤 草佑
夏祭り花火がばく発真夜中で	六年	大澤 蒼生	ねむるとき外からひびくかえるの合唱	六年	辻 歩嵩
夏休み炎が噴火石がきサウナ	六年	大槻 奏太	たのしいねばたあしをするスイミング	六年	トゥーバタスニムジャン
			かき氷食べすぎきけんようちゅうい	六年	長翁 旭

ドキドキだパンと音するすいかわり  
 休みの日どきどきするよきもだめし  
 友だちといっぱい食べたかき氷  
 炎天下だがし屋の前でガリガリ君  
 すなはまでみるとたのしいサーフィング  
 アメリカだ飛行機のもよ夏旅行  
 夢の中ふとんをはいだ熱帯夜  
 昼さがり熱中症がしんぱいだ  
 外出ると太陽が出て日焼けする  
 頭きたガツガツ食べたかき氷  
 かき氷いっぱい食べておいしいな  
 楽しくて時間わすれる水遊び  
 夕ごはん春の空から流れ星

沢野小学校

夏の夜夜にかみなりなっている  
 秋の川きねんさつえいきれいです  
 夏休みきれいな花火見てみたい  
 勝負の日山の合戦運動会  
 プールから風があたつて涼しいな  
 あの夕日炎のようなあの夕日  
 きこえるねせみのばん奏鳥の歌  
 台風で草々まがるあいさつだ  
 夏のときあつたいようひかつてる  
 初鯉すみれ草の輪をくぐる春  
 夏祭り浴衣で行って花火見る  
 ま夏の夜セミのめざまし大きいな  
 田植して夜中になれば虫の歌  
 夏の水ばーとなつてもセミの声

六年 中村 果鈴  
 六年 羽生 咲  
 六年 広瀬 優斗  
 六年 福岡 奏人  
 六年 伏見 花  
 六年 フラー 仁  
 六年 細谷 美琴  
 六年 前泊 楓  
 六年 室田くるみ  
 六年 茂木 美咲  
 六年 和田 彩冬  
 六年 和田 竜芽  
 六年 ヴテイエンクエン

夏の中つかまえない虫甲虫  
 人格が春夏秋冬で変わる空  
 落葉たち虫と一緒に落ちてゆく  
 雷は夜空を照らすお月様  
 初詣家族みんなとお参りだ  
 夏休みおいしい季節だかき氷  
 夏の夜外ではカエルのがっしょうだ  
 天の川夜空に光る伝説だ  
 日本一思い出残る運動会  
 梅雨が来た雷がふりへそ守る  
 花がさく桜満開びんくの木  
 せみの声夏になつたんだききたいな  
 セミの声リズムに乗って口ずさむ  
 夏の夜外から聞こえるせみの声  
 六月はあめふりつもるだがあつい  
 最近は夏と冬しかないようだ  
 夏祭り雷鳴って中止だよ  
 夏休み家族で旅行思い出だ  
 夏のよるふわりと光って見える雲  
 夕焼けや太陽しずみ花火咲く  
 夏の風すずといっしょにおどりたい  
 新年に喜ぶ子どもお年玉  
 かみなりだ弟達がへそかくす  
 夏休みはなびが落ちてうつくしい  
 ばあちゃんちこたつでみかん食べたいな  
 バンバンと夜空に上がる夏の花  
 7月に七夕があつていい季節  
 冬の夜光かがやく白い雪

六年 サカイズキマコト  
 六年 島田 龍希  
 六年 東山 華梨  
 六年 福田 美桜  
 六年 真秀 歩季  
 六年 松村 優衣  
 六年 宮澤 碧海  
 六年 矢島 さら  
 六年 山内虎太郎  
 六年 山田 怜依  
 六年 吉田 結愛  
 六年 レティウロン  
 六年 レーミキ  
 六年 赤尾莉音那  
 六年 アグバウツチェナ  
 六年 入江 伶香  
 六年 大塚 祐弥  
 六年 大谷 心海  
 六年 岡本 悠愛  
 六年 小熊 柊友  
 六年 小保方怜空  
 六年 鏡 遙仁  
 六年 キョトクリスティン  
 六年 木綿 誠吾  
 六年 小林 奏翔  
 六年 小林 花音  
 六年 佐藤 菜南  
 六年 高田 百花

こちよ小春日和だ外に出よう	六年	千葉 湊詩	ひな祭り桜もおどるいい春だ	六年	タレットウイズオン
夏の日はプールに入っておもしろい	六年	寺内 蒼波	梅雨明けにふうりんが鳴く夕焼けきれい	六年	高橋優樹愛
日がくれてセミのなき声夏がきた	六年	戸敷 笑歩	お月見の夜に紅葉がおどってる	六年	寺澤 菜緒
夏まつり今度はゆかた着て行くぞ!	六年	羽田 美月	風鈴がすずしい音でなっている	六年	戸ヶ崎梨花
雀の子見つけて思う春一番	六年	原口航太郎	卒業生桜のように散っていく	六年	野崎 楓夏
夏の夜そろそろくるなへそとりに	六年	原島 侑希	ある猛暑風鈴チロチロおどってる	六年	広瀬 尊
甲虫ライバルたおし金メダル	六年	針谷 海聖	夏に見た夏の神様甲虫	六年	福地 柊
ひな鳥が屋根下で鳴く夏休み	六年	松下 天音	蛙鳴く友達を呼ぶ声なのさ	六年	藤田 雄大
夏休み家族みんなで海へいく	六年	山本妃良々	夕立はどきどきするよこわいかな	六年	水落 天翔
冬の夜さらさらと降る雪の声	六年	相原 彩葉	浴衣着てみんなながめる火の玉を	六年	相場琉希那
やっと来た若葉が芽ばえ入道雲	六年	青山 結音	新年でお年玉もらえばうれしいよ	六年	荒木 諒太
夏休み友達と行く夏まつり	六年	荒木 希	つめたいな夏のプールはきもちいな	六年	伊藤 理玖
秋がきた心にとおるかねの音	六年	石川 惺絆	勝ちたいな夏の甲子園最高だ	六年	碓氷 唯翔
かぶとむしいつかはかいたいなつのあさ	六年	石丸せのん	夏休みプールに入りおぼれたな	六年	内田 凜
夏が来たみんなで目指す全国だ	六年	上武 彪斗	七夕で願いを書くとワクワクだ	六年	海野 羽奈
夏が来たミンミンと鳴くセミの声	六年	浮須 杏奈	夕焼けを家族で見つめてあたたかい	六年	大中 菜緒
つるとはさ冬に現れ不思議だな	六年	大谷 透真	夏休み家族でキャンプ楽しいな	六年	大谷 七海
きれいだなかえるの声と水の音	六年	岡本 陽翔	雷がとどろきおどろくおそろしい	六年	萩原 辰弥
夏が来たプールや祭り楽しいな	六年	金子 凜香	夏休みアイスを食べようたのしくね	六年	川岸 皇誠
小麦から早苗に変わる梅雨の時期	六年	亀田美優希	夏休み花火大会たのしいな	六年	川崎 結菜
夏祭り空に咲く花打上花火	六年	菊谷 慎也	夏がきたプールであそぶ楽しみだ	六年	グエンポバオニイ
梅雨明けの野外は暑く夏が来た	六年	木部 音遊	手りにんごすべっておちておどろいた	六年	グエンレイユイタイ
冬の日は大いにつららみつけたい	六年	小久保亮志	みんなでねプールに入りたいのしいね	六年	坂上 里玖
ばあちゃんがもうすぐ帰るよお彼岸だ	六年	齋藤 天舞	夏休み時間がすぎてくさみしいな	六年	坂本 力紅
夏休みプールがあるとうれしいな	六年	小坂カミレ	父とだけクワガタ返す木々返す	六年	澤田 蓮斗
天の川空の川での魚つり	六年	周 敏荃	菜の花と声出したい笑いあう	六年	重久 幸穂
夏がきたミイミイミイなくよせみの声	六年	鈴木 斗葵	もう暑日にアイスも倒れる今日の夏	六年	高坂 祐愛
風鈴の音がそよそよ夏の日々	六年	鈴木 悠菜	夏休みおこられすぎたおるすばん	六年	竹澤 旺輝

夏祭りうちあげ花火に金魚すくい  
お花見は春一番のお楽しみ  
岩宿に社会科学見学すずしいな  
だるまさんかえって見ると化け始め  
梅雨明けはじめじめしてるとなつの森  
夏休み家族で旅行楽しいな  
涼しんでそうめんすすする暑い夏  
魚みたいプールで泳ぐ夏休み  
菜の花が一面にさききれいだな

**鳥之郷小学校**  
なつまつりともだちつれてたのしいな  
夏休みとても気持ちいい水遊び  
夏休みもつと長くていいのにな  
炎天下せみの鳴き声大合唱  
夏の夜花火や祭りにぎわいだ

**休泊小学校**  
うずしおのなみがながれんいとおかし  
星今宵天の川わたつて会いにゆこう  
笑みうかぶ紅葉のふとんきらめいて  
ひまわりやにらめっこする太陽と  
セミがいたミンミンミン夏が来た  
子が育つ太田の文化吞龍  
子供たち仲良く楽しすいかわり  
夏祭り今年もさいふとにらめっこ  
午後十時今夜も窓に守宮の子  
蚊の音も聞こえぬ暑さ人ばてる  
初夏の寺青いもみじ麗様な  
降る光夜の雨かな散る花火

六年 田島 彩羽  
六年 田中 航輔  
六年 中村 颯馬  
六年 布施 美玲  
六年 堀川 碧生  
六年 八代結姫夏  
六年 山口 結子  
六年 吉川 茜  
六年 若月瀬里菜  
六年 後藤 蓮  
六年 藤生 大雅  
六年 茂木 康晟  
六年 澤田 唯  
六年 岩崎 愛叶  
六年 林 琉生  
六年 馬場 紗月  
六年 脇 知紗都  
六年 遠藤 生成  
六年 柴宮 莉彩  
六年 渡邊 杏莉  
六年 加藤 優依  
六年 栗田弥与生  
六年 原島 碧  
六年 吉田 結愛  
六年 須永 耀仁  
六年 町田 一葵

炎天下水がみるみる溶けてゆく  
かき氷夏の日差しに輝いて  
もう暑日にとり町からたいこの音<sup>な</sup>  
リンリンと風りんひびく青空に  
じりじりと汗拭き歩く送り盆  
遠き空ペランダからの花火かな

**強戸小学校**  
受けつごう伝統文化将来へ  
木にかくれジリジリシリとセミが鳴く  
暑くてもボールをけて過ごす夏  
いつまでも大切にす海や山  
夏休み毎日すこす健康に  
青い空ひびきわたるよせみの声  
夏休み海に行きたい気分かな  
お月さま大きくきれいクレーター  
グラントで汗と涙真夏の日  
セミの声今年も来たよこの暑さ  
夏休み家族で花火きれいだな  
夏の海笑い声と波の音  
セミの声庭から聞こえるコーラスだ  
暑い夜鳴き続けるかひぐらしや  
夏休み夏のお祭り楽しかった  
夏休み家族で楽しむ川遊び  
夏休みすいかをたべてたねとぼし  
大変だ大量課題の夏休み  
夏休み友と遊ぶの楽しいな  
汗たらし太陽の下で遊ぶ子たち  
サッカー合宿朝から元気にまくら投げ

六年 成井 柚衣  
六年 小川 紗穂  
六年 高橋 拓馬  
六年 板橋 芽生  
六年 大川 永愛  
六年 小田ひなた  
六年 蟻川 宏斗  
六年 市村 咲乃  
六年 大木 陽太  
六年 大谷柚稀乃  
六年 岡部亜琉仁  
六年 岡部 友翔  
六年 荻原 世逢  
六年 小倉 颯太  
六年 柿沼 龍空  
六年 神山 陽向  
六年 川島 凜  
六年 北詰 祐道  
六年 木村萌々花  
六年 田島 優子  
六年 田所 桃季  
六年 田村 蘭音  
六年 千葉 明咲  
六年 塚田 楓  
六年 津久井風伽  
六年 西方 蒼良  
六年 星野 新太

セミの声プールに花火家族の時間  
 始業式夏の思い出語り合う  
 夏休み終わるの早いもう学校  
 夏の空いろいろどりの花火咲く  
 夏祭りなにかたべようかまよったな  
 登校日みんなと会えるの楽しみだ  
 もう暑の日太陽の下で水遊び  
 夏休み朝からとるぞビクトリー  
 手花火で思い出作り友達と  
 夏休みみんな楽しくお祭りだ  
 夏休みクーラーつけすぎ電気代・・・  
 夏の海いろんな魚泳いでる  
 夏休み家族と花火最高だ  
 そらにさく火でつくられたはなばたけ  
 運動会練習あせだくソーラン節  
 真ん中の梅干し食べてパワーアップ！  
 夏休み休みも多い宿題も  
 パリ五輪応援しよう暑い夏  
 暑い夏暑さに負けず練習だ  
 みんなと夏を知らせるせみの声  
 友達と楽しい思い出夏祭り  
 夏休み夏をまんきつ楽しいな  
 せみが鳴く気温が高いこれぞ夏  
 五つの輪日本活やく金メダル  
 夏は暑いアイスを食べておいしいね  
 夏の昼蝉や風鈴鳴りひびく  
 冷たいなキンキン冷えたかき氷  
 ふうりんがちりんちりと鳴りまくる

六年 町田 旺祐  
 六年 松本 美空  
 六年 丸山 聖奈  
 六年 柳 優衣  
 六年 柳澤 璃惟  
 六年 吉野 絢音  
 六年 今井日向多  
 六年 岡部 蒼生  
 六年 小野田愛莉  
 六年 小暮 海斗  
 六年 木暮 千翔  
 六年 小林 颯羽  
 六年 佐川 陽翔  
 六年 佐藤 果奏  
 六年 佐藤 郁弥  
 六年 佐藤 美海  
 六年 清水 勇紀  
 六年 清水 柚希  
 六年 高橋 謙心  
 六年 竹中 優衣  
 六年 丹野 優菜  
 六年 富樫ゆい子  
 六年 戸丸 湊  
 六年 中島 聖人  
 六年 中平 歩  
 六年 長谷 愛璃  
 六年 星 青羽  
 六年 増田 琉成

夏の空白球の虹画くんだ  
 ビー玉をあつめもとめるピンラムネ  
 はらいたいスイカをたくさんたべすぎて  
 夏まつりやたい見ながらまようぼく  
**宝泉小学校**

カラフルに思い出残る太田祭り  
 鮮やかに夜を彩る夏の宴  
 春の風心おちつきねむ気まま  
 上みたら花火がさいたきれいだな  
 我いどむ水面にひびく大歓声  
 夏の空花火がドンドンきれいだな  
 守りたい緑あふれる自然の恵み  
 海や川楽しさいっぱい夏休み  
 水泳で友と努力でゆく五輪  
 夏の夜うちあげ花火きれいだな  
 赤とんぼ夕焼け香る秋の夜  
 おいしいなもつと食べたいおつきなすいか  
 目にしみる顔のあせがじわじわと  
 暑い夏風鈴がなる風の音  
 夏祭り花火が上り笑顔咲く  
 赤青黄舌を見せ合うかき氷  
 小町通りお土産いっぱい買いたいな  
 友達と公園で遊ぶ夏休み  
 夏がくる夏こそ俺にふさわしき  
 夏休み日焼けいっぱいいたいへんだ  
 夏休みだらけすぎてすぐ最終日  
 昔から伝わる文化大切に  
 夏休み家族で遊ば暑い夏

六年 宮本 耀  
 六年 横堀 希衣  
 六年 吉野 亮平  
 六年 中山 颯真  
 六年 大越 ねね  
 六年 大坂 龍駕  
 六年 柿沼 紗良  
 六年 神谷 恵美  
 六年 木村岳玖登  
 六年 小林 央昌  
 六年 小林 優愛  
 六年 小林龍ノ介  
 六年 庄司 彩良  
 六年 高井 奏多  
 六年 田畑 希未  
 六年 塚越 詢  
 六年 土屋 結愛  
 六年 中村 陽花  
 六年 成塚 万桜  
 六年 野口 美結  
 六年 橋本ひまり  
 六年 原澤伸太郎  
 六年 八木 龍美  
 六年 山田かおり  
 六年 塚越 由依  
 六年 倉田 柏  
 六年 高橋 愛奈

夏休み野球の試合がんばるぞ  
 夏の日のはひまわりさくよ元気にね  
 夏野菜もらって食べてくり返す  
 川遊び魚が見えてきれいだな  
 歯ブラシは未来のために必要だ  
 夏休みお昼はいつもそうめんだ  
 夏野菜いっぱいあるよ苦手だなあ  
 お中元スイカとメロンごうかだな  
 宿題をあとまでためる夏休み  
 かみなりがごろごろなつてみなさわぐ  
 気が付けばもう終わりだなせみの季節  
 なつやすみ宿題やらなくておこられる  
 家族とさ話す時間もいんじゃない  
 守ろうよ青と緑のこの地球  
 夕焼けできれいな雲のグラデーション  
 夏風にあおがれすむ暑さ夏  
 ソーラン節運動会での人気物  
 犬がにげ流れる涙と夏の星  
 友だちと仲良くゲーム楽しいな  
 おしゃべりがとっても楽しい夏の夕方  
 みんなでさしぜんを守ろうたいせつに  
 夏休みセミがミンミン目がさめる  
 夏休み宿題増えるセミと泣く  
 夏の昼町中にひびくセミの声  
 セミの声バツトふるたび汗流す  
 福島県楽しく桃を丸かじり  
 かき氷食べてみたけど歯がいたい  
 夏祭り大きな花火きれいだな

六年 石垣 工  
 六年 田邊 皐月  
 六年 山口 璃久  
 六年 浦野 空翔  
 六年 山西 愛莉  
 六年 松島 潤奈  
 六年 ポリイストラ  
 六年 吉富 詩織  
 六年 今野しおり  
 六年 高安こ太ろう  
 六年 ブーコックバオ  
 六年 ゴーハオビエト  
 六年 桜庭心々音  
 六年 安藤 圭吾  
 六年 天笠 夢香  
 六年 石川 和輝  
 六年 小谷野裕翔  
 六年 田中 守  
 六年 セイエドハインドハッサン  
 六年 仲宗根来新  
 六年 早川 颯亮  
 六年 吉川 勇  
 六年 鹿山 翼  
 六年 塩田あらた  
 六年 大山 聖斗  
 六年 大野 巴瑠  
 六年 田中 大翔  
 六年 田村友理奈

にこにこで学校のとびら今開く  
 夏休み地域の祭り友達と  
 夏休み友といっしょに遊びたい  
 夜空には光り輝く夏の星  
 夏休みみんなの笑顔思い出す  
 夏休み会えない友とラインする  
 夏休みババンとひびく花火かな  
 宝泉南小学校

海の音秋のおとずれさみしいな  
 稲光山の形を浮かばせる

毛里田小学校

帰り花青風ともに押し移る

時流れ今に伝えし砲台座

セミの声暑さに負けず歌う声

夏の海砂はまるでやるすいか割り

夏の夜花火の音がひびいてる

炎天下くやし涙でにじむ白球

ぬくぬくとこたつにはいる冬休み

夏休みわずかな期間楽しもう

旅先で見上げた星座と花火かな

梅雨明けた雨は降らぬが暑すぎだ

友達と仲よくしよう楽しいな

友達と会えない時間さみしいな

中央小学校

始まった母と同等怖い夏

ふとみれば瞳にうつる花火たち

家にいず友達さそって海行こう

炎天下エアコンの下天国だ

六年 加藤 優蘭  
 六年 立川紗奈美  
 六年 田辺 海吏  
 六年 村瀬 詩果  
 六年 樋下田朱璃  
 六年 塚越 優花  
 六年 根津龍之介  
 六年 小平 惺大  
 六年 杉山 高昌  
 六年 新井菜々心  
 六年 奥山みりあ  
 六年 櫛田 紗依  
 六年 増田 桜子  
 六年 浅香 奈菜  
 六年 稲垣 遼  
 六年 黒巖 季生  
 六年 津久井秀芽  
 六年 富岡璃莉子  
 六年 中島 花音  
 六年 長竹 竜弥  
 六年 新井 穂夏  
 六年 遠藤ひなた  
 六年 岡 大遙  
 六年 森尻芽衣那  
 六年 鄭 佳琪

こごえる日赤く燃えてる花ツバキ	六年	藤枝 梓未	蛍飛ぶ清らかな川どこまでも	六年	清水 大輔
自然には緑ゆたかな森があり	六年	黒澤 悠斗	夏の夜火花舞い散る祖母の庭	六年	竹内あかり
海の青さらさらゆれて夏香る	六年	高橋 瀬奈	夏の夕せみの鳴き声夏感じ	六年	田所那由翔
うれしいな家族と過ごす夏休み	六年	村上 結海	海に行き水をかけ合い笑い合う	六年	ツオンホーカインリン
炎天下ひかげで麦茶かえり道	六年	荒川 結彩	友達と幸せな日々が毎日	六年	中居 瑠唯
青い海湖風と共揺れる海	六年	白石実央莉	ハチロクは榛名を走る伝説だ	六年	西村 聖哉
夏の夜ほたるはみんな夏の友	六年	グエンタイハイイン	大切に歯を守ろうね歯みがきで	六年	バスネットバルビン
また今夜ゴロゴロピカリきもだめし	六年	菊地 奏佑	私の身守れるのは私だけ	六年	平松まつり
ふとみれば友の笑顔に春の夢	六年	高畑 聡志	夏休み宿題あるぜ大変だ	六年	阿佐見碧樹
夏休みあつというまに日が過ぎる	六年	西山 陽翔	暑き日に風鈴の音涼しいな	六年	稲見 奏汰
暑い夜家族で見上げる星の海	六年	清水 陽輝	夏休み遊びすぎると青嵐	六年	江島 梨佳
カブトムシ捕れてうれしい夏休み	六年	清水 大輝	夏祭り景品狙って射的屋へ	六年	梶原 寛生
夏祭りみんなで回る楽しみさ	六年	内藤 翔琉	夏休み宿題いっぱい大変だ	六年	金子 ゆみ
クラゲからにげるスピード新記録	六年	石川 明輝	秋の季語	六年	クラザジアン
SNSその行動は正しいの？	六年	清水 海咲	暑い夏涼しい部屋でやる課題	六年	後閑 美羽
かき氷味がいろいろおいしいな	六年	伊藤 帆花	あついなつせみがうるさいやなおと	六年	小林 こあ
暑すぎてやる気がでない夏休み	六年	荒井 栞	風鈴がリンリンとなり夏がきた	六年	小堀 歩花
陽が落ちて空にきらめく花火かな	六年	鈴木慎之助	夏祭りそれでもぼくはひとりだけ	六年	櫻井 大耀
夏休みあつという間に新学期	六年	飯塚日菜乃	夏祭り屋台たくさんどこいこう	六年	島井 爽
夏休み楽しめるのは今年まで	六年	石川 陽菜	夏祭り空を見上げ花火咲く	六年	関口 紗菜
この夏はあせでいっぱい楽しさを	六年	岩崎 悠琥	夏休み水遊びして気持ちいな	六年	立石 流彩
美しいひまわり咲いた夏気分	六年	内田 達矢	夏の空見上げてみれば虹の橋	六年	谷口 想
太陽がガラガラ暑い海びらき	六年	漆原 由華	夏休み思いで作り楽しもう	六年	ツカダジュン
夏の空さらさらしててきれいだな	六年	大関 珠璃	秋の夜満月のしたうさぎのもちつき	六年	塚原百合菜
夏休み宿題終らず最終日	六年	奥谷 悠	暑い夏空高く鳴くホトトギス	六年	トランアン
夏の夜上がる花火は高く散る	六年	柿崎 司傘	夏祭りいろんな食べ物おいしいな	六年	半田 龍輝
信号を青でわればこわくない	六年	木暮 巴毅	宴の晩屋台の光祭の音	六年	平岡 郁和
ぬいぐるみお話ししたい現実で	六年	佐藤 心歌			

宝泉東小学校

夏休みアイスを食べたべてねましようか	六年	ファムハイダン	夏の日の群馬榛名山すずしいね	六年	深沢 悠人
夏休み宿題あるけどのりきろう	六年	麩沢 陽斗	夏が来たふうりん買ってせんぶうき	六年	藤野 詩音
秋の夜コオロギ鳴くよ発表会	六年	村山 大貴	あの日見たかがやいた毎わすれない	六年	松田 悠雅
桜咲き春の初まりがんばるぞ	六年	室林 稜士	アイス夏に食べるのおいしいよ	六年	松本 琉希
宿題すぐくつかれる夏休み	六年	山田 徠夢	春の時期温度いいけど花粉やだ	六年	丸山 煌晴
夏休み暑い夏の風とけてしまう	六年	湯浅 寿美	なつがきたはじまるあいずセミのおと	六年	村山 心優
夏だからエアコンつけてそうかいだ	六年	若月 歩夢	夏のこん虫ミンミン鳴く虫暑きこん虫	六年	矢島 心晴
暑い中プールであそび楽しいな	六年	渡辺 陽日	あついひびせみのなくおとおんがくだ	六年	山下 朗
夏祭りラムネをのんで花火見る	六年	金子 優波	夏来たる波の音がひびきわたる	六年	ラマ 歩寿
かき氷夏に食べるときもちいな	六年	荒井 佑渉	なつやすみはじまりましたあついです	六年	リヤズライアン
夏休み暑すぎて飛ぶたおれそう	六年	生形 叶汰	あつい日はつめたいあいすさいこうだ	六年	リンドアキオ
なつがきたからだがあついあいつくう	六年	榎木 優太			
赤とんぼ夕やけ空をとんでいる	六年	大澤 咲希	<b>旭小学校</b>		
ふゆさむいこたつのなかであたたまる	六年	大塚 結稀	あと少し熱い砂浜海はそこ	六年	定方 結人
寒いなか木漏れ日ゆれる冬の朝	六年	大野 由菜	友達とめかくしをしてすいかわり	六年	入江 葉巳
お正月親に取られるお年玉	六年	梶原 雅生	つゆあけてやつと遊べる友達と	六年	小島 彩楓
下校中夕立にあいびしょぬれだ	六年	春日 千尋	なつまつり食べあるきするいちごあめ	六年	山崎いざべら
寒い日におでんを食べてポッカポカ	六年	加藤希乃花	ひまわりがさきはじめたよ夏の夜	六年	飯田日菜子
あきはいいきいろいはつぱおちふゆに	六年	KANNANBHAVA	何味だ音がシャキシャキかきごおり	六年	橋本 留成
桜さく木の下で会う友達と	六年	小林 千夏	おいしいなまつりでたべるかきごおり	六年	田口 蒼士
夏休みすぐおいしいかきごおり	六年	近藤 悠馬	小さいな残る足あと夏の浜	六年	荒木 咲蘭
梅雨の時期外で遊べず悲しいな	六年	塩川 知弥	あざやかに夜空にうかぶ花火かな	六年	宮川 紗月
夏あついアイスクリーム食べたいな	六年	関根 銀志	きれいだな打ち上げ花火夜の空	六年	阿久津琉翔
七夕に願い届けるたんざくよ	六年	武田 煌太	かき氷どれにしようか赤青黄	六年	笠原 萌杏
春がきたつぎへ進もう自分でね	六年	塚越 凜斗	あみどにはかが死んでいるなんかいや	六年	坂本 晴飛
初桜春を感じてこちよ	六年	中島 可鈴	なりやまんセミのなきごえいつまでも	六年	柳澤 一寿
風りんがすずしげになるきれいだな	六年	西田 葵	夕方に耳をすませばせみの声	六年	常見 優奈
ザアザアと降る雨の後虹が立つ	六年	西村 柚綺	夏祭り人がたくさんにぎやかだ	六年	久保田啓太
			夏祭りみんなでおどるダンスショー	六年	上野 楓禾



夏の日はやけしすぎてまつ黒い	六年	仙石ケイコ	新しい君の未来へ卒業	六年	佐藤 翔太
せん風機冷たい風が気持ちいい	六年	上原 彩香	ヒグマの子シカをおいかげぜんりよく	六年	ホラニクニエルナイト海馬
夏は梅雨がたくさん最悪だ	六年	初澤 虎牙	雨降る道色とりどりの紫陽花だ	六年	塚越 結菜
夏祭りきれいなゆかたりんごあめ	六年	小山 寧々	桜咲くまちにまつた卒業式	六年	射越 壹成
きれいだなほたるの光あかるいよ	六年	佐々木悠人	太陽がキラキラ照らす夏の海	六年	山口 楓華
ラムネ飲みスツとさわやかにつかれ取る	六年	高島 凜	六年間長いようで短いな	六年	田地野遙陽
オセロだねひやけがやばい半ズボン	六年	小西 凜音	試合の日剣道場でひびく声	六年	對比地桜生
夏の空うずまくもさきけんかな	六年	谷田部佑弥	上見ると赤や黄色の葉っぱがキラキラ	六年	對比地羽菜
夏休みはえとびまわるはなれるよ	六年	赤石 翔太	お祭りでコーラをがぶのみ冷たい	六年	北浦 結衣
夏休み友だちと遊ぶ川遊び	六年	テオドロカイキ	とびらあくあたらしい日にとびだとう	六年	藤岡 斗希
知りたいななぜなっているのせみさんたち	六年	有浦 涼乃	空見上げ打上花火せいでいな	六年	樋口 紗空
春がきた桜も満開卒業だ	六年	古澤 琉惟	夏祭り声が広がる屋たい	六年	石関 大陸
夏休みみんなで遊ぶ水遊び	六年	蝶名林 煌	夏のはじまりあつさと戦う学校生活	六年	相馬 未来
水水涼しくなる夏の日	六年	大越 杏寿	夏祭り打ち上げ花火きれいだな	六年	淵澤 りさ
黄金虫残暑の中なっている	六年	笠井 優那	アイスはね寒い時もおいしい	六年	見上 護優
夏にくるびかりと落ちる雷が	六年	高島 咲斗	夏の声セミがジイジイ鳴いている	六年	遠藤 秋芳
まつりの日花火の音がなりひびく	六年	王 馨婕	本と食べ物両方持つて秋とつにゅう	六年	姫 叶程
夏まつり花火が上がる色々な	六年	清水 琴音	夏に行くプールで泳ぎ気持ちがいい	六年	波多野琉輝斗
秋の暮秋のもみじは美しき	六年	小林 廣平	あせをかきみんなで協力運動会	六年	児玉 吏多
夏休み海やプールが楽しいね	六年	中野 愛彩	友達へ楽しい思い出ありがとう	六年	徐 欒惠麟
夏祭り花火の音がなりひびく	六年	山谷 翔	夏休みみんなでアイス買いに行く	六年	星野 英太
しんねんだことしはどんなゆめなのか	六年	坂本 彩葉	じいちゃんがつくったすいかかぶりつく	六年	久保田志絆
夏が来たいっぱい降る梅雨の時	六年	田嶋 庵俐	夏休み元気にすごして登校だ	六年	高野 航大
夕焼けがかがやいているオレンジに	六年	坂本 陽希	夏休み三日連続そうめんだ	六年	田島 駿吏
春の空一つ花びらまい落ちる	六年	早坂 唯	夏が来た！プールに海に！夏祭り！	六年	松本 絢菜
暑い夜うるさい音はせみの声	六年	山口 誠也	夏休み夜空でひかるもえる花	六年	長島慶一朗
暑い日にみんなと楽しむ夏祭り	六年	関塚 稟斗	夏休みみんなで仲よくすごそうよ	六年	山川 颯真
空をみる打ち上げ花火色々たくさん	六年	吉川 心結	水遊び笑顔になった海を見て	六年	岡田あゆみ

カラフル花大空にさいた夏の夜	六年	岩瀬 愛莉
夢の中50問テストふごうかく	六年	後藤 利綺
トンボ達野原かけぬけ大レース	六年	堺田 獅道
見てられる秋の夕日は美しい	六年	趙 熙暉
秋うましごぼうしいたけごちそうだ	六年	藤倉 一真
降りつもる白銀世界で雪遊び	六年	大里 初花
大きいなひまわりみたい太陽だ	六年	武内アレシアンドレ健三
友探すミンミン歌うセミの歌	六年	木村 柚月
涼しかな吹割の滝夏めく日	六年	笛木 智陽
夏祭り家族といっしょの昼サンバ	六年	辻 汐夏
あつい夏食べるアイスはとくべつだ	六年	南 桔平
けりとばせ心に残る暑い試合	六年	宮地海虹美
暑い夏プールに入り気持ちいいな	六年	金田 統真
夏の空耳をすませばせみの声	六年	小林 友那
冬の朝雪がとけてきれいだな	六年	野村 颯太
えんがわでたしなむ麦茶秋の空	六年	齋藤 夕璃
あついなつつめたいうみであつさとぶ	六年	大澤 優惺
競走だアイスがとける暑い風	六年	千葉 彩加
梅雨になりかささしながら水遊び	六年	佐々木心奏
冬休み外にはいかずこたつむり	六年	小笠原望桜
夏の朝まつすく伸びるニチリンソウ	六年	和田 和士
暑い日のお花畑はうるわしい	六年	高木 花音
流れ星野球選手になりたいな	六年	武藤 稜弥
駒形小学校		
風りんとすだれを通る夏の風	六年	矢尾板 花
ポケットに入れたままだった昨日のカイロ	六年	山内咲陽子
赤とんぼもうすぐ終わる夏休み	六年	山田 一翔

沢野中央小学校

夏休みすごくあつくて外にでない	六年	内田 憲伸
なつやすみやることないな引きこもり	六年	馬持 祐志
夏の夜セミの鳴き声おちつかない	六年	大橋 威吹
暑い夏熱戦広げる少年団	六年	小川 碧斗
小学校最後の夏を楽しむぞー！	六年	落合 凜
夏休み虫のなき声いい音だ	六年	折原 馨
なつのじき夜の町にひびくせみのこえ	六年	兼平 乃愛
夏休みかきごおりたべすずしいな	六年	木伏波空斗
夏の夜中セミのうた声ねむれない	六年	グエンゴックミントゥ
夏休みいとこがとまってにぎやか	六年	久保田焯音
夏休み夜も楽しい夏祭り	六年	栗原 千早
あつい夏きれいな青空かぬま川	六年	スペイディルソン
夏休み旅行いけば思い出だ	六年	高橋 二葉
運動会完全燃焼つかみとれ	六年	高橋 実花
夏休みどこも行かずに引きこもり	六年	高野 琉晴
とうこう日やすみと思いちこくする	六年	高林 葵人
夏休み明るい花火美しい	六年	千金楽ほのか
なつやすみ暑い日が続くおんだんか	六年	中里 慶多
なつやすみすることないよつまらない	六年	新山 陸人
夏休み海がきれいで音もきれい	六年	野上 蒼生
夏休みやることないからつまらない	六年	服部 理人
なつやすみまつりやあそびたのしいな	六年	藤原 結菜
夏休み海に行きつめたくて気持ちいいな	六年	丸島 唯愛
春になりさくらがさいてお花見だ	六年	村岡 依栞
夏休み外暑すぎてひやける	六年	山崎 蓮斗
夏休み夏期講習だ行きたくない	六年	渡邊 智望
夏の昼流れがはやい鹿沼川	六年	ラマボテスザン

昔から伝わる文化大切に	六年	中島 美祐	つゆがすぎ庭にたくさん虫が来る	六年	今田 葵
なつまつり友だちと行って楽しかった	六年	岡田 眺舜	夏休み金魚すくいきれいだな	六年	大竹 咲良
お友だちすてきな笑顔をありがとう	六年	大熊ひめり	なつやすみプールたのしみこんでそう	六年	大森 華音
かげのびる夕日と競走かれ葉ふむ	六年	山田 奏	夏祭り客の声が鳴りひびく	六年	菅野 彩
あついひクーラーガンガンすずしいな	六年	間宮 芽依	なつやすみたのしみねぶたたのしみだ	六年	グエンゴックカン
最高の友達と食べるアイスクリーム	六年	赤羽 萌生	せみの声ミンミンなくなうるせーな	六年	近藤 美結
なつやすみ友達とあそんでたのしいな	六年	大谷 結	夏休み生活リズムくずさない	六年	今野佑輝斗
ぶしゅつと夏のコーラがおいしいな	六年	阿部 彪牙	夏休み外は暑いけど中はさむい	六年	齋藤 優菜
さつまいも食べ物の秋おいしいな	六年	屋地 陽都	太田市は今年で合併二十年	六年	周東 凌平
夏休みねっちゅうしようが大変だ	六年	小林 維生	ドドーンと花火の音がひびいてる	六年	高木 慎司
夏休み自然にふれていいかんじ	六年	長岡 陽太	夏休みみんなでまつり楽しもう	六年	武井 楽翔
夏休みみんなの楽しいプールだよ	六年	福島 颯斗	ふうりんのすずしい音がなりひびく	六年	田中 陽葵
あついなつうみべによるときれいだな	六年	平井 雄大	一学期成績良くてうれしいな	六年	谷田 龍牙
夏がきて六年最後の夏休み	六年	寺田 唯花	夏休み交通じこに気をつける	六年	田村 天柀
ともだちといっしょにプールはいったね	六年	佐々木 望	かき氷夏にあうよねおいしいね	六年	中居 月菜
昔の人達が残したれきしをたいせつに	六年	大澤 芽依	夏祭り尾島ねぶたでもりあがる	六年	仁科 彬人
夏祭り夜空に光るうち上げ花火	六年	大濱 心愛	夏の夜に静かな虫がなっている	六年	西村衣緒梨
夏休み家族みんなで思い出作り	六年	橋本瑚愛海	夏休み虫が多すぎ虫いやだ	六年	沼田 春馬
夏いえば洗たくするとすぐかわく	六年	大杉 果暖	すいか割りなかなかすいか割れないね	六年	橋本 瑛司
あついとさのみものわすれぶったおれる	六年	島崎 大和	夏休み長い休みで楽しいな	六年	福士凜太郎
暑い夏がまんできかない日の光	六年	森 智葉月	夏休みすごくあつくてたいへんだ	六年	藤村 陽向
暑い夏がんばりたい宿題	六年	長山慶次郎	宿題を三週間で終わらせる	六年	邊見 思温
あついなつ立ち多くてたいへんだ	六年	橋本 瑛	夏休み楽しいけれどあつすぎる	六年	堀越 麻央
夏休みあつというまに最終日	六年	富永 優月	海の日だイルカがおよぐきたいな	六年	道家 捷斗
夏休みプールはとても楽しいな	六年	松田 尚音	海の風きらきら光る青い空	六年	宮川 夏音
青い海波打ち際でレスリング	六年	澤山 珠真	あの日から花火が夢にでてくるよ	六年	茂木希乃羽
尾島小学校			なつやすみたくさんの宿題じごくだな	六年	本村 悠貴
カブト虫かっこいいだろクワガタも	六年	飯塚 蒼莉	秋までにスマホがほしいほんとうに	六年	横山 航大

なつやすみそとでおまつりさわぎだな	六年	吉田 遥翔	うれしいな長い夏休み楽しみだ	六年	宮澤明日香
夏祭り毎年雨が降っている	六年	吉橋 愛華	暑い夏顔から汗がたきのよう	六年	宮下 智寛
夏休みセミもミンミン鳴いている	六年	石川 輝翔	夏休みまつりにプール楽しみだ	六年	茂木 優成
たのしもう事故なくすこす夏休み	六年	猪口 慶人	夏休み梅雨が終わり最高だ	六年	湯本 晴
夏休みおんだんかで動けない	六年	沖田千之助	たのしく暑い夏休み	六年	吉村 隼成
夏によるねぶたのはやしと友のこえ	六年	小倉 一華	かき氷いっきに食べる頭痛する	六年	六川 陽
夏の夜虫の鳴く声さわがしい	六年	金井 稚佳	なつやすみすいかわつたらたねがとぶ	六年	川島 捺葵
小学校恋しくなるよ夏休み	六年	金子 朔也	夏休み宿題の山つらすぎる	六年	伊賀井竜生
夏休み元気にすごして快調だ	六年	川島 來琉	夏休みめちゃくちゃあつさいあくだ	六年	荒井 快斗
夏休みきそく正しくレッツゴー	六年	神藤 康汰	夏休みいろんなことでのたのしもう	六年	小林 歩莉
夏休みはなびやプール楽しみだ	六年	木村 潤愛	夏祭りみんなわいわいにぎやかだ	六年	山鹿 美藍
夏祭りかぞくとまわる楽しいな	六年	楠本万璃子	夏休みいろいろなことやりたいな	六年	森川ひより
夏休み宿題多くて終わらない	六年	小池 生琉	終業式別れがあれば出会いあり	六年	飯塚 大翔
夏休みガッツポーズですぐ遊ぶ	六年	小沼 威斗	夏休み家族とともに楽しもう	六年	久保 優雅
夏休みゲームしながらごろねする	六年	権田宗之介	なつのかぜすこしあつたかいきもちいな	六年	山口 柑汰
夏休み学校なくて自由だな	六年	里見 青飛	夏休みイオンに行こう楽しみだ	六年	竹澤 桔平
なつまつりおおきなはなびきれいだな	六年	椎原 芹奈	夏祭りみんなでワイワイかき水	六年	星野 琴音
友達とねぶた祭りを楽しむぞ	六年	塩島笑依絆	夏休みプールで遊ぶ楽しいな	六年	岡田 千夏
なつやすみたのしいプールともだちと	六年	島田 紗希	夏休み宿題多くて最悪だ	六年	田村 聖雅
夏休みしゆくだいわすれさいしゅうび	六年	田端 凌大	夏の夜に尾島ねぶたのひびく音	六年	楠本 健人
夏休みあつとゆうまに夏終わる	六年	堤田 一瑛	もう暑の日外で体育きつすぎる	六年	浅海 朱里
宿題大量に出る夏休み	六年	外所 愛捺	海の中食物連さすぐおこる	六年	小林 紬
なつやすみにいがたに行くたのしみだ	六年	長井 愛花	夏休みプールに入ってすずしいな	六年	宗形 莉緒
さらさらと夜空かがやく夏の夜	六年	橋本 湧志	夏休み宿題多くてたいへんだ	六年	丸岡優樹斗
始まるぞ長いようで短い夏休み	六年	浜野 妃菜	夏休みみんなで遊んで楽しいな	六年	永井 莉朱
暑い夏遊び楽しむ海などで	六年	原 結菜	夏休みエアコンのしたごろごろと	六年	横田 敦哉
夏休みお出かけ楽しみ	六年	星野 百那	夏休み海や花火で楽しもう	六年	星野真和士
夏休みねぶた楽しい思いで	六年	道家 愛心	夏休みプールであそび楽しいな	六年	茂木 玲奈

夏休み日かげを探す子どもたち  
 夏祭りもり上がり声明るい屋台  
 宿題が多すぎて泣く夏休み  
 夏休みプールにいこうみんなだね  
 おまつりにイベントだらけ夏休み  
 風がふくりんとなく音ふうりんだ  
 夏休み旅行に行つて海入る

世良田小学校

夏の朝涼しい風とカブトムシ  
 夏休み楽しくみなで旅行行く  
 朝起きて夏の日差しに目が眩む  
 ハンモック溜まった疲れを連れさらう  
 夏休みひざがつよく引きこもる  
 青い空スタンプラリーで筋肉痛  
 かき氷暑い夏には最適だ  
 夏の海波に揺られる水眺め  
 炎天下額に汗もトカゲ出す  
 かき氷家族で食べて笑顔だな  
 夏休み打ち上げ花火きれいだな  
 雨やんでひとりぼっちのかたつむり  
 ザワザワとわたしねてるのカブトムシ  
 今の夏せみの音もない夏の夜  
 猛暑日がつづく今年は十二歳  
 夏深しスーパー開店米競争  
 なつかしや夏の暑さが帰かんした  
 夏の夜キレイに上がる花火やら  
 夏の日はミミズが死ぬほど暑すぎる  
 むしたちのなきごえかわりもうあきだ

六年	小淵 翔馬
六年	松浦 右京
六年	橋本 結夢
六年	阿部 心咲
六年	新井さくら
六年	武内 芹璃
六年	萩原 睦翔
六年	岩崎 蓮
六年	中里 優花
六年	高柳 美咲
六年	松島 遥希
六年	毛呂 峻大
六年	高橋 夢瑠
六年	目崎 陽向
六年	山越 結衣
六年	橋本 将生
六年	関口 詠太
六年	小島 遥斗
六年	仁科 春樹
六年	中村 菜那
六年	小林 恋華
六年	山口 朋夏
六年	中島 来望
六年	山崎 蒼真
六年	吉田 茉央
六年	高橋 桜祐
六年	深澤 望菜

太陽がしずんで夕焼け美しい  
 夏休み宿題やれと急かされた  
 夏休みオリンピック見て声かれる

木崎小学校

夏休み宿題多いまじでやだ  
 夏休み学校祭り楽しみだ  
 お祭りでお金を使いりんごあめ  
 クリスマスこうかんをするたのしみだ  
 夏休み遊びにいこう友達と  
 夏祭り浴衣をきて出かけよう  
 友達とぎおんにいくよ楽しみだ  
 夏休みみんなで遊ぶ夏祭り  
 夏休み遊んでいたら金がない  
 お月見を楽しくしたいな九月の夜  
 夏休みみんなで遊ぶ楽しみだ  
 夏の家エアコンつけてアイス食う  
 夏暑いすごく暑いよ温度が  
 夏の夜キラキラひかる天の川  
 夏が来た楽しいけれど暑すぎる  
 夏休み家族と海で遊びたい  
 たくさんのごみをきれいに大そうじ  
 海に行く魚を食べる楽しいよ  
 夏休みからイベントがあるととても楽しみ  
 かきごおり白くてふんわり雪のよう  
 夏の夜田んぼにうつる花火見る  
 夏休み宿題がいっぱいいまじでやだ  
 夏休み海は暑くてたいへんだ  
 夏休みきれいな海に入りたい

六年	山越 琉菜
六年	仁科 唯
六年	下川原聖乃
六年	相場 琉生
六年	青木 颯亜
六年	池田 煌
六年	岡田 陽向
六年	岡野 嵩
六年	河田 妃華
六年	木村 海音
六年	栗原 誠也
六年	栗原 愛翔
六年	栗原 結愛
六年	椎名 海輝
六年	清水 琴未
六年	高畑 拓真
六年	高柳みのり
六年	滝本 岬希
六年	藤堂 紗衣
六年	内藤 綾音
六年	中澤 愛実
六年	中原 眞弥
六年	原島慶一郎
六年	廣田 来夏
六年	松本かいお
六年	宮本 大輔
六年	門馬ナオト

寒くなりず虫が鳴く満月の夜  
夏まつりセミ鳴く夜に火花舞う  
寒い中サッカーをして温まる  
夏休みイオンに行くよ友達と  
帰り道せみの音聞こえ夏がきた  
太陽がキラキラ光る春の朝  
夏祭り祭りは人でにぎやかだ  
学校で最後のプール楽しいな  
大きな音空を見上げた夏の夜  
かき氷頭キンキンでもうまい  
夏休みプール冷たい気持ちいいな  
チャプチャプとプールの音で夏が来た  
夏なので外にいたら蚊だらけさ  
新学期桜がつくる出会いだね  
夏の夜虫のともしび光りの世  
冬休みアイスとこたつ最高だ  
宿題がたくさんあるよ夏休み  
夏かすみ北海道のはこだてし  
暑い夏部屋でゴロゴロでも暑い  
夏が来たセミの音が鳴り響く  
夏休み家ぞくで海へ行きたいな  
夏休みたくさん課題休めない  
夏休みプールいったら一時間  
暑い夏れいぼうつけてゲームする  
梅雨の時期しずくしたたる紫陽花の花  
暑い日に楽しくあそぶ子どもたち  
暑い夏アイスを食べてすずしもう  
夏休みイオンに行くよ暑い夏

六年 横沢 梨花  
六年 吉田 和奏  
六年 渡部 蒼生  
六年 石井 鳳太  
六年 稲葉 唯  
六年 岩瀬 陽葵  
六年 大木心々音  
六年 笠原 亜美  
六年 川田 萌絵  
六年 河村 太晴  
六年 川本ガブリエル  
六年 木崎 紅音  
六年 持田けんすけ  
六年 小林 蒔瑠  
六年 齋藤 悠仁  
六年 櫻井 景太  
六年 佐野 真花  
六年 篠崎 陽斗  
六年 鈴木 悠斗  
六年 須藤愛莉夏  
六年 角田 慧明  
六年 トシプラトファユミ  
六年 長沼 琉可  
六年 新田 賀尉  
六年 橋本 花  
六年 本田 春稀  
六年 村岡 幌介  
六年 山田 新

夏暑いかき氷食べすずしいな  
ヒマワリはなつをよぶはなつつげる  
夏休みすとぷり映画楽しみだ  
夏の色青に黄みどりきれいだな  
夏祭りギラギラ光る屋台たち  
夏の夜空をいろどる天の川  
夏休みみんなで食べるかき氷  
夏休みたくさん遊び楽しもう  
夏休み楽しい祭り楽しみだ  
秋の声虫のなき音うつくしい  
夏休み多い休みださいこうだ  
夏休み火花がドカンきれいだな  
夏休みプールに行つて楽しもう  
夏休みキャンプいくぞ家族とね  
夏休みまつりに行くよ親友と  
かき氷太陽暑い夏の午後  
ゆかた着て祭り楽しむ子供達  
雪の夜こたつでごろりかいてきた  
朝がたにきれいな日の出美しい  
昼どきにみんな楽しくスイカわり  
夏祭り片手にうちわ必要だ  
夏の夜虫の鳴き声きれいだな  
夏の夜にきれいな音色虫の声

六年 倉持 祐幸  
六年 ドブラドバルボサガブリエル  
六年 箕輪 羽琉  
六年 沼尾 樹  
六年 大塚 らん  
六年 峯村 旭  
六年 布施川宗一郎  
六年 野原 理央  
六年 川島 侗輝  
六年 岸 龍晴  
六年 高柳 光琉  
六年 石川 結菜  
六年 小島 佑太  
六年 松本 尚也  
六年 室田 優音  
六年 柿沼 蒼弥  
六年 今泉 心寧  
六年 角田 仁  
六年 田村 彩乃  
六年 服部 蓮  
六年 新井 文梅  
六年 赤石 惇斗  
六年 嶋村 煌晟  
六年 森田 結斗  
六年 武藤 風沙  
六年 町田 優奈  
六年 清水 隆輝

生品小学校

夏祭り火花があがる夏の空  
やまのぼり暑くてきついが景色きれい  
夏の空汗水垂らし笑顔さく  
キラキラと夜空に輝く花火の輪

綿打小学校

暑い日は冷蔵庫の中住みたいな  
海行つてイカ焼き食べた最高だ  
聞こえたらむねが高まる花火の音  
あいさつは笑顔にさせるおまじない  
夏祭りビー玉ほしく飲むラムネ

藪塚本町小学校

雨が降る青ガエルなく夏の夜  
夏祭りみんな元気で楽しいな  
ひまわりがすすくそだつ元氣よく  
魚つり川のせせらぎ心地よい  
かき氷猛暑ふきとぶつめたさだ  
夏休みよくがんばった生徒たち  
ドンドンバ夜空に大輪咲かす夏  
夏は海海水浴は気持ち良い  
暑い夜みんなでさわぐ肝試し  
夏休みお祭り行くぞ楽しみだ  
夏休みすっぱかさされる約束事  
二期期にあつたらいいな秋休み  
色変わりががやくもみじ赤城山  
手をつなぎ幼いこと水遊び  
なつのじきみずをあびるとすずしいな  
うっせえわセミの声とAdoの声  
サッカード友とあせふく暑い夏  
夏の海日焼けが痛いヒリヒリと  
夏休み外で遊んで楽しいな  
暑い夏きれいな海でスイカ割り  
りんご飴空にかがやく宝石だ

六年 篠木 柊里  
六年 佐藤瑠樹亜  
六年 大館日向乃  
六年 清村 祐依  
六年 小林 愛奈  
六年 千木良洗太  
六年 蘭田 優衣  
六年 茂木龍之介  
六年 巴山 宗  
六年 久保田啓介  
六年 櫻井 貴仁  
六年 中島 由結  
六年 栢嶋 姫奈  
六年 茂木 萌羽  
六年 中嶋 七都  
六年 矢島 楓花  
六年 松浦 丞助  
六年 大沼 右依  
六年 菊地 晃介  
六年 大草 瑠菜  
六年 大嶋ひなた  
六年 岡田 空  
六年 岡田 大和  
六年 金井 蓮斗  
六年 川崎 心  
六年 神取 蒼空

暑い夏みんな楽しんでバーベキュー  
夏休み桐生まつり楽しいな  
友達と思ひ出作り夏休み  
夏休みいつも楽しいお祭りだ  
夏休み暑いから海行きたいな  
夏休みいろいろやってたのしんだ  
夏祭り屋台のご飯おいしいな  
楽しいないこと遊ぶ夏休み  
夏休みプールさんまい暑い夏  
夏祭り屋台の香りおいしそう  
太ようの日ざしはつよく暑い夏  
夏休み宿題多い大変だ  
夏の日の試合終わりに光る汗  
夏休み風りんの音夏がきた  
夏の夜火の粉舞い散る空の花  
夏休みみんなで行った夏祭り  
なつやすみおまつりいったともだちと  
夏の夜セミがいつも鳴いている  
夏の日に俳句に悩み日が暮れる  
初めての友と電車で夏祭り  
夏の夜夜空にかがやく花火の色  
夏休み火遊び水遊びは大人とやろう  
かきごおり冷たいほうせき夢のよう  
おいしいなキーンと冷たいかき氷  
祖父が乗るきゅうりをたてる盆の朝  
金魚すくい紙破れたり負けてたり  
夏休み猛暑の中で練習だ  
夏の朝太ようまだでぬうそみたい

六年 桑原 蓮  
六年 後藤 朔  
六年 小堀 柚  
六年 佐々木皇虎  
六年 椎名 旭飛  
六年 竹内 勇凜  
六年 巴山 悠  
六年 前原 姫菜  
六年 今井 周平  
六年 小川 楓空  
六年 金子 凜香  
六年 河名 心美  
六年 久保田凌大  
六年 栗原 凜花  
六年 小林 翠  
六年 周藤 芽愛  
六年 白井ゆうすけ  
六年 蘭田 愛衣  
六年 堀越 康生  
六年 山口 輝真  
六年 青木 麻尋  
六年 遠坂 美琴  
六年 トウリンガンジャリーイア  
六年 富岡 琉花  
六年 大隅 宇莉  
六年 藤原 りこ  
六年 牧山 和正  
六年 白石 航己





秋近しトンボとびかう夏の夕ぐれ	六年	江原 康太	空にさく赤青緑の新田の花火	六年	楠本 理人
きもだめし白い影見て腰抜かす	六年	大友 翔生	夏休み松島の鳥きれいだな	六年	久保田 權莉
盆おどりゆかたで楽しむ夏の夜	六年	小川 姫織	夏休み青色の海空みたい	六年	坂入 心結
4時間目ミンミンと鳴く大合唱	六年	川島 埜愛	夏の夜キラキラ星たちかがやいて	六年	鈴木 友麻
夏の日の暗い夜空に花がさく	六年	川島 佑介	夏休み最初にやった感想文	六年	鈴木 悠花
夏休み宿題なければバラダイス	六年	川本 芽依	なつやすみかきごおりたベキンキンだ	六年	須藤 春成
夏の海ポディーボードとシュノーケル	六年	栗原 妃七	夏は好き花火よあがれきれいだな	六年	谷 侑星
サイダーで夏を楽しくそめつける	六年	小島 禎太	夏の空きらきらかがやく星たちだ	六年	立木 星奈
夏休み海や祭り楽しみだな	六年	佐藤 輝翔	夏の夜にきらきらかがやく夏の月	六年	角田 陸叶
すずしげな風りんの音どこからか	六年	澤口 いろは	バシャバシャとひびくプール夏の日だ	六年	根本 礼奈
ふと見ると空一面に花火かな	六年	杉浦 咲那	夏祭り裏側見ればごみ祭り	六年	堀江 龍一
お盆過ぎ日が暮れるのが早くなる	六年	関口 依吹	夏の夜ゴロゴロ光りねむれない	六年	真野 綾香
なすの牛おみやげ持って帰ってく	六年	瀬平 葵	夏休み台風がきてさいあくだ	六年	皆川 勇人
帰り道セミが鳴いてる夏が来た	六年	谷 清音	夏の空希望とともにかがやいて	六年	八代 紗希
冬の朝こたつに入って温まる	六年	中庭 颯太	バレーボールみんなで合宿楽しみだ	六年	安井 小晴
生き物が活発になる夏がきた	六年	野原 乙樹	暑い夏いつも聞こえるセミの音	六年	結城 星七
絵画のよう花火いろどる宿のまど	六年	藤原 悠誠	すずきのほ月といっしょにきらきらと	六年	吉田 龍叶
甲子園勝つても負けても最後の夏	六年	松本 秀斗	夏休み外であそぶと汗かくな	六年	吉田 蓮
エアコンであつきたいさくばんぜんだ	六年	宮内 瑛斗	夏祭りビー玉目当てに飲むラムネ	六年	吉野 智咲
ウグイスが夏になつても鳴いている	六年	横堀 美月	なつやすみゲームをやつてたのしいな	六年	アスィフアヤン
水遊び暑くてジリジリでも気持ちいい	六年	吉田 結春	夏の夜かがやくはやしねぶたの灯	六年	新井 鈴音
夏休みきそく正しく楽しもう	六年	松橋 景	雨あがり虹がきれいですてきだね	六年	安城 京真
声を聞くセミがミンミン鳴いている	六年	相羽 駿斗	ジメジメとぬるい空気が真夏の日	六年	安藤 杏月
夏の夜夜空に光るきれいな花火	六年	新井 紘貴	夏の夜セミのなきごえねれないな	六年	上原龍貫ゼイヤ
夏休み気温高くてまいつちゃう	六年	今泉 結雅	夏の日に熱血に鳴くセミ達が	六年	碓氷 泰理
夏が来た冷えたアイスでひと休み	六年	岩本 隆太	夏の夜に家族とともにおまつりへ	六年	江田 透悟
夏休みのしいけれどつかれるな	六年	金子 慧	夏が来たふうりんがなくならずしいな	六年	大木 琉々華
おいしいなまっかなスイカをがぶりと一口	六年	木村 楓花	海の声夏かんじるは波音と	六年	大澤 芽生

夏の空とても青くてあたたかい	六年	川田 龍聖
梅雨さりてついに来たる真夏の日	六年	川本 梨乃
森の中時がたつほど変わっていく	六年	窪田 琉惺
夏休み課題をせずにゲームする	六年	坂本 晴真
大波だ人の波だよ海の家	六年	澤田 恵佑
ひらひらとさくらの花びらまいおちる	六年	徐 一晴
がんばるぞさらなる進化夏休み	六年	関 琥二朗
夏の夜ひまわりみたいな大花火	六年	高山 柚月
夏の夜かすかにきこえるせみの声	六年	椿 更紗
すず虫の遠い夏ひびく虫の声	六年	中島 宇
夏の夜見上げてみれば明るい空	六年	長沼 蒼汰
なつやすみはなびやプールいきたいな	六年	フィンザバオ
セミが鳴くそろそろ梅雨がおわるかな	六年	福田 萌乃
夏休みみんなで旅行楽しいな	六年	福田 優空
空見上げ見つめる太陽ががやいて	六年	前田 琴音
夏の夜花火びかぴかきれいな	六年	山崎 晴五
汗だくで入る水風呂格別だ	六年	吉見 麗矢
積もる雪飛び込み写る体の跡	六年	吉田 愛来

## 投句者数

太田小学校	四句
九合小学校	六八句
沢野小学校	一一〇句
鳥之郷小学校	六句
休泊小学校	二〇句
強戸小学校	五五句
宝泉小学校	六二句
宝泉南小学校	三句
毛里田小学校	一五句
中央小学校	四二句
宝泉東小学校	六〇句
旭小学校	九九句
駒形小学校	四句
沢野中央小学校	五四句
尾島小学校	九三句
世良田小学校	二五句
木崎小学校	七八句
生品小学校	六句
綿打小学校	六句
藪塚本町小学校	五三句
藪塚本町南小学校	四八句
北の杜学園	八四句
合計	九九五句

## ◆編集後記◆

今年も俳句コンクールと格闘する時期を迎えました。特に気を遣うのは表彰の通知文です。〇〇賞は〇〇小の〇〇さんへ間違いなく届けなくてはなりません。届いてから、それは違う人でしたとは言えません。何回も確認をして賞の種類と名前、学校名を確認します。そして名前の誤字です。でも、これは万が一間違っていないでも、賞状に印刷する前なので、訂正はできますし、学校へも確認をしていただいておりますので最近では賞状や作品集の名前の間違いはありません。しかし、名前はひとり一人、自分だけの大切な名前です。誤字があれば大変失礼ですし、失礼では済まないようなこともあります。本当に神経を集中する作業です。

わたしにとって小学生俳句コンクールはライオンズの恩師である笠原しの遺志を繋ぐことを肝に銘じてやっております。良く笠原しは私の俳句がなかなか上達しないのを見かねて「弘子さんに申し訳ないぞ」と言ったり、たまーに良い句ができると「弘子さんの句を真似たな」と皮肉られたりと、特にお酒の入る席では愛情？をもって可愛がられました。俳句を詠んでいた私の母の弘子が亡くなってからも、母のことを話してくれる亡き笠原しに心から感謝したものです。

笠原しから褒められた句を記して感謝の言葉とします。無事に俳句コンクールができるのも大勢の関係各位のお蔭様です。ありがとうございます。

「初恋の切なさゆれしらくらんぼ」信昭

太田中央ライオンズクラブ俳句の会

会長 鈴木 信昭

## ◆鈴木伸一プロフィール◆

国際俳句雑誌「吟遊」同人。世界俳句協会会員。日本現代詩歌文学館評議員。85年、「俳壇正賞」受賞。

句集『桃天』。編著『秀句350選 地』。共著『現代俳句の新鋭』『ようこそ俳句の世界へ。上毛ジュニア俳壇優秀句集1997～2009』『2010年朝の一句 上毛ジュニア俳壇年間優秀句集』『同2011年版』『同2012年版』『同2013年版』など。

97年より上毛新聞ジュニア俳壇選者として、年間22万を超える青少年俳句に接する。また、学校での俳句授業や講演なども行い、青少年が俳句に親しむ環境づくりに取り組んでいる。

## 太田中央ライオンズクラブ

国際協会333-D 第1リジョン第2ゾーン 会員数40名

所在地：太田市浜町3-6 太田商工会議所4階

電話：0276(45)9193 FAX：0276(48)5121

会長：小林 陽一 幹事：岡村 達哉 会計：柳 檀

## 令和6年度 太田中央LC子供育成事業

### 第12回太田市小学生俳句コンクール 実行委員会

実行委員長：鈴木 信昭

令和6年11月30日発行

後援団体・会社：太田市 太田市議会 太田市教育委員会 上毛新聞社 群馬テレビ  
太田商工会議所 太田市青少年育成推進員連絡協議会  
太田俳句協会

編集：東京広告株式会社



## ライオンズへの参加を歓迎!!

ライオンズクラブは1917年にアメリカで誕生。世界約200カ国、130万人、日本では11万人の会員で構成されている世界最大の奉仕団体です。

「ウィサーブ」(われわれは奉仕する)を合言葉に様々な奉仕活動に取り組んでいます。

太田中央ライオンズクラブでは毎月2回の通常例会での情報交換を中心とし、老人ホーム慰問活動、清掃活動、青少年育成の小学生俳句コンクール、薬物乱用防止活動、外国人スピーチコンテストなど奉仕活動の分野は多岐多彩です。

「社会の役に立ちたいが、どうしたら?」とお考えの方にとって、太田中央ライオンズクラブへの参加は最良の選択肢となります。我々の一員として社会貢献しながら自分の人生をより豊かに成長させることができます。

**奉仕の歓喜で共に成長しませんか!**